

## 事業計画書

事業名	空き店舗の活用研究
実施箇所	佐久市望月地区
実施期間	事業開始予定年月日      平成29年 5月 3日
	事業終了予定年月日      平成29年 11月 5日
事業概要	<p>&lt;事業の目的&gt;                      佐久市の中でも望月地区は、歴史的地理的にも中山道を中心に発展してきた。近年、過疎化が進み、その対策が急務である。望月の特性や資源を生かし、地域の魅力を掘り起こし、あわせて地域の活力アップを図るための施策として、数年間空き店舗となっている呉服店をお借りし、地域作りの拠点とすることで、新たな地域コミュニティの構築、観光、商工業、地域の絆等を総合的にサポートする仕組みを研究する。</p>
	<p>&lt;事業の内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 空き店舗の補修整備（照明、外装、内装等）</li> <li>2 空き店舗活用による魅力発信、新たな事業研究                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗としての活用試行、販売、アンテナショップ等</li> <li>・「地域の縁側」機能の研究（旅行者のお休み処、交流の場、イベント会場）</li> </ul> </li> <li>3 月1回以上イベントを実施して、事業効果を検証する                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光事業の取り組み、歴史散策、体験ツアー、情報発信、ガイド育成</li> <li>・研修会、講演会、コンサート等の実施</li> </ul> </li> <li>4 その他                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップによる新たな取り組み</li> </ul> </li> </ol>
	<p>&lt;事業の効果・アピールポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・望月宿の中心に位置する「元呉服屋の空き店舗」の活用は、宿全体に活力を呼び込み、そこに地域の拠点機能をもたせることで、交流人口の増加を望める。</li> <li>・多くの住民が参加できるような仕掛けで、世代間の交流の場となり、地域おこしに貢献できる。</li> <li>・公共施設の休日・休館（土曜、日曜、月曜）の三日間を、この事業で補完できる。</li> </ul>
	<p>&lt;事業における市の役割分担&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報支援、研究参加、資金援助、人材派遣、サポートセンター機能導入</li> </ul>